

サトイモ全期マルチ栽培における「生分解性マルチ」の利用

農林水産研究所

◆全期マルチ栽培における「生分解性マルチ」の必要性

県内ではサトイモの全期マルチ栽培が定着しており、生産者のほとんどがビニールマルチを使用しています。しかし、ビニールマルチは、自然界に長く残存するため、収穫時に除去し、産業廃棄物として処理しなければならず、除去や処理に多くの労力やコストがかかります。



自然に分解される「生分解性マルチ」の利用により、マルチの除去・処分に係る労力や費用を削減できます。露地野菜品目を中心に既に利用が進められています。



ビニールマルチ



マルチ除去作業

省力化・プラスチック廃棄物の削減効果



生分解性マルチ



耕うんによるすき込み

◆今後の取組み

現在、分解程度の異なる5種の生分解性マルチ資材評価試験を開始しており、生育・収量および適応性調査(分解の早晩、すき込み評価等)を通じて、サトイモ栽培に最適な資材の選定を目指します。